# 日本材料学会講演論文タイプ A 原稿の見本

東都大学 吉田太郎 東都大学[院]

# A Sample of Manuscript of Type A Paper Taro YOSHIDA and Ayumi ZAIRYOU

A manuscript should be prepared with a laser printer or equivalent output with higher quality than a 24 dot-printer. You must submit A4 sheets with a top margin of 25mm, left and right margins of 20mm, and a bottom margin of 22mm. The title and the name(s) of the author(s) should be printed on the first page in both Japanese and English, followed by the abstract of 200-300 words, giving a brief account of the most relevant aspects of the paper. Main text will start with a line spacing above. All figures and tables are positioned within text.

## 1行分あける.

#### 1 緒 言

これは、日本材料学会講演会用原稿タイプ A のフォーマットを示したものです。本フォーマットに従いA4 の白紙をご用意の上、所定のページ数以内に日本語で作成して下さい。講演論文集は A4 で作成されます。なお、マイクロソフトワードで原稿を作成される場合は、日本材料学会のホームページからダウンロードしたこの原稿作成要領をそのまま原稿にお使いになれば、マージンなどの設定は不要です。以下では、フォーマットの詳細を示します。

## 2 原稿の執筆上の注意

- 2.1 原稿用紙 原稿は A4 白紙 (297mm×210mm)をご用意の上、各講演会所定のページ数以内に作成して下さい。制限ページ数を超える場合は受け付けられません。なお、原稿用紙の右上に鉛筆で小さく(吉田 1/4、吉田 2/4・・)のように第一著者名とページをご記入下さい。
- 2.2 マージン 原稿用紙に、左右 20mm、上部 25mm、下部 22mm のマージンを確保し、この枠内に原稿を作成して下さい。この枠外のものは印刷されませんのでご注意下さい。また、本文は2段組とし、コラム幅80mm、コラム間隔を10mm として下さい。
- 2.3 題名、著者名 次の事項を本例に従って記載して下さい。 (1)和文題名(15 ポ イント) , (2)和文著者名(11 ポ イント) , (3)英文題名 (13 ポ イント) , (4)英文著者名 (11 ポ イント) , (5)英文要旨(9 ポ イント) , 題名は中央揃えとしますが、題名の頭には講演番号を事務局でつけますので、左欄の端より 30mm 以上空けて下さい。また、著者名は、勤務先、氏名の順に、左欄の端より 40mm 以上空けて記載して下さい。連名の場合は講演者(登壇者)に 印をつけて下さい。
- 2.3 本文 本文は9pt で執筆下さい。1 コラムの文字数は全角で25 文字程度、行間隔は14pt 程度として下さい。したがって、1 コラムあたり51 行、1ページあたり約2500字です。参考文献は10,20,30のように番号をつけて本文の最後にまとめて下さい。参考文献の書き方は、日本材料学会誌「材料」の原稿執筆上の規約に準じます。
- 2.4 図表 図表を本文で引用する場合は、図(写真を含む)については、図 1、図 2 のように、また表は表 1、表 2 のように引用して下さい。なお、図表中の説明、キャプションは原則として英語とします。見本のように用紙にそのまま貼り込め

る大きさに用意し,本文中の説明と離れない位置に貼り付ける.図・表どうし,あるいは図,表と本文は1行以上間隔をあけるようにして下さい。

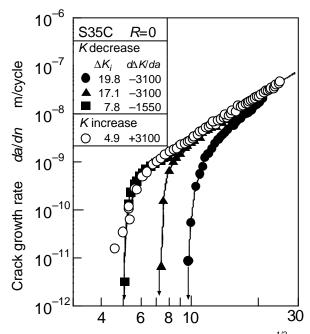
材料あゆみ

### 3. 原稿の送付

原稿は、必ず締切日までに日本材料学会各講演会係宛にご郵送下さい(消印有効)。その際、整理の都合上、封筒の表に講演番号を明記して下さい。講演番号は各位に送付する「原稿提出依頼」封筒の宛名に記載しますのでご確認下さい。ただし、シンポジウムによっては、Web上で申し込みをされた方には「原稿提出依頼」が送付されません。その場合には、Webに記載のプログラムで講演番号をご確認下さい。締切日に遅れて到着した原稿は論文集に掲載されません。

### 参考文献

- 1) 吉田太郎,北山左京,材料,48,555(1999).
- 2) H.Harada and T.Yoshida , Proc. M. Soc. , **A-123** ,321(1989) . (1行分あける.)



Stress intensity range  $\Delta K$  MPam <sup>1/2</sup> Fig.1 Relationship between *daldn* and  $\Delta K$ .